

令和3年12月22日

生駒南小学校・生駒南第二小学校の保護者（地域）の皆様

平素は、本市教育行政にご理解を賜り、ありがとうございます。

さて、生駒市教育委員会で検討を進めておりました市立小・中学校の再編等につきまして、方向性が決定しましたのでご報告いたします。

小・中学校の再編等につきましては、国からの人口減少時代における公共施設の整理合理化の流れを受け、令和2年2月に有識者からなる「生駒市学校教育のあり方検討委員会」から本市教育委員会に対し、生駒南第二小学校の統合を含む内容の答申がなされました。その内容を受けて検討を進め、令和2年10月に、生駒市教育委員会で「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」を整理しました。

さらに、この結果を踏まえて、令和3年2月に、再編の対象とされた各小学校において保護者・地域・学校・行政から成る地域協議会を立ち上げて協議を重ね、7月に意見書を提出いただきました。

市教育委員会では、地域協議会からの意見書を踏まえて審議を重ねるとともに、市長も参加する総合教育会議においても協議を行い、この度、「生駒市立小・中学校の再編等に係る方向性について」を最終的に決定いたしました。

今回の決定では、学校と地域・保護者、市が、これまで以上に協働し、学校運営や子どもたちの教育プログラムを充実させ、地域活性化にもつなげていくことを共通認識としたうえで、生駒南第二小学校を存続することとしています。併せて、子どもたちの学びや成長を最優先に考えた場合、一定の集団規模が必要との判断から、入学時に1年生の児童数が20人以下になる年が2年続いた時は、再編に向けた対応を進めていくこととしています。

また、生駒南小学校につきましては、地域協議会からもご意見をいただいております学校施設の老朽化や生駒南中学校の規模の適正化に向けた取組等を速やかに検討していくこととしています。

本件につきましては、本市としても時間をかけ、丁寧に関係者の声をお聞きしながら検討を進めてまいりました。コロナ禍の時期にもかかわらず、保護者や地域関係者、有識者など多くの方々に、たくさんの貴重なご意見やご提案をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

子どもたちの成長につながる、より良い学校づくりは、学校や市だけでは不可能です。保護者、地域関係者、今回ご意見をいただいた方をはじめ、すべての関係者の皆様と、学校や市がこれまで以上に協働して取り組むことにより、子どもの成長につながる学校づくりが実現し、生駒南第二小学校を再編せず、存続した意義が高まっていきます。

市及び市教育委員会といたしましては、今後も子どもたちの健やかな成長を第一に考え、様々な施策・事業を積極的に進めてまいりたいと考えておりますので、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

生駒市長 小紫 雅史  
生駒市教育長 原井 葉子

※「生駒市立小・中学校の再編に係る方向性」の内容については、  
市ホームページ <https://www.city.ikoma.lg.jp/0000027954.html>  
若しくは、右のQRコードを読み取っていただき、ご覧ください。

